津山圏域自治体による地方創生の取り組み

無所属
安東伸昭

地方創生

問 津山圏域地方創生協議会の方針は。

答 2月24日に発足した津山圏域地域創生協議会では、津山圏域版総合戦略を策定し、人口減少への対応と産業の活性化のため、圏域人口ビジョンを取りまとめる。そして、課題を共有する中で、圏域自治体が連携して取り組むべき効果的な施策・事業のあり方を検討・実施する。

鳥獣対策

問 鳥獣被害対策は。

答 広域連携による鳥獣被害対策は、情報の集約化による駆除の効率化や迅速化などの利点があり、必要性を認識している。津山圏域での連携が可能か検討する。

教育

問 津山中学校の受験の状況は。

答 津山中学校の受験者数は300名で、内津山市内から、180名が受験し、合格者数は42名である。

岡山県立津山中学校

グラスハウス廃止した場合どうなる

津山新星会議
近藤吉一郎

グラスハウス

スポーツ

問 グラスハウスは平成27年度末で指定管理期間が終了し廃止した場合、県にいくら返還するのか。

答 県との協議の中で10年の協定期間に達せず廃止した場合、県がリニューアルにかけた修繕費4億円の半分の2億円を返還する。廃止し、取り壊す場合は、取り壊し費用約4億円が見込まれ、加えて、市の試算であるが、残存物価格約7億4千万円を県に支払うことになる。

問 津山スポーツセンターサッカー場の条例上の名称変更について見解は。

答 4月から人工芝になり、サッカーはもとよりラグビーも行えるようになり、ネーミングも「サッカー・ラグビー場」と表記されることとなった。岡山県ラグビーフットボール協会からも名称変更の要望があり、名称変更について調整していく。

観光を産業化するには、観光客数200万人必要！

緑風会
津本憲一

観光

問 観光を産業化するには津山の場合、城下町の活用。それには城下整備が必要。商工会議所との連携は。

答 会議所との連携は不可欠であり、今後、連携を深めたい。

整備

問 本市には景観条例がないが、制定の進捗状況は。

答 景観形成の実現化方策や行為の制限などの方針を準備中。今年度、取りまとめたい。

問 城西地区の重伝建に向けての展開は。

答 建物の現況調査を実施し、市の保存地区に指定した上で、国の重伝建選定に向けて、まちづくり協議会などと連携して取り組む。

作州民芸館付近

まちづくり

問 市民が「津山の街並み保存と活用を考える会」を組織。この会に市はどのようなフォローができるのか。

答 武家地の保存・活用は共通の目的。連携して取り組みたい。